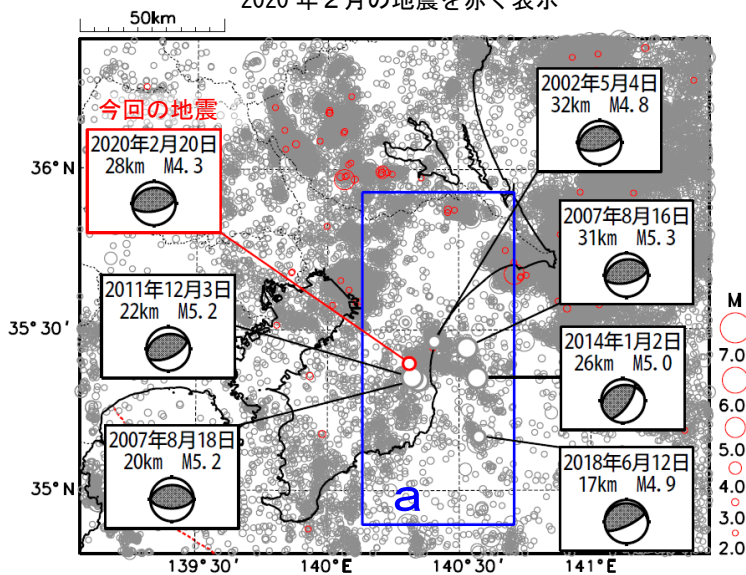
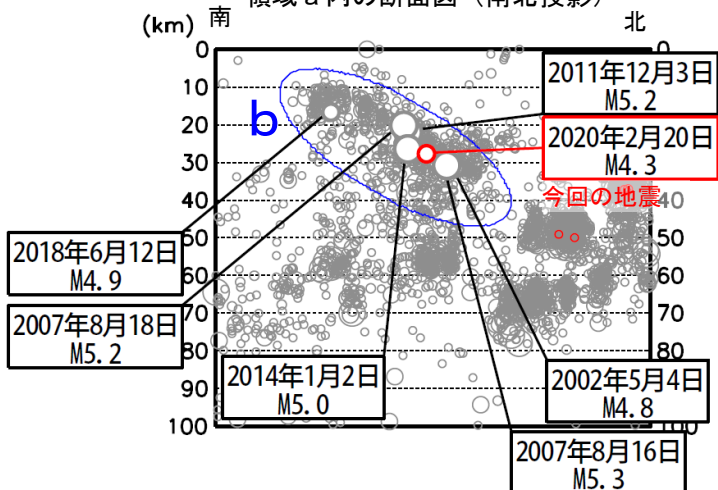


2月20日 千葉県北東部の地震

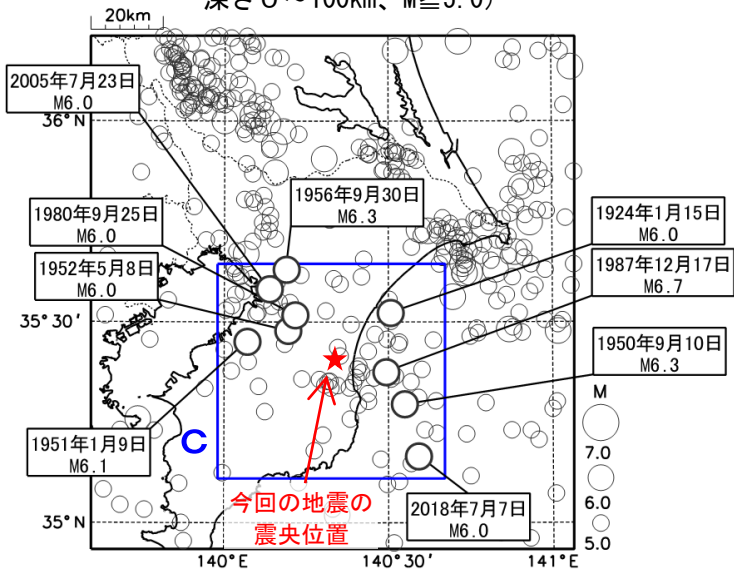
震央分布図
(1997年10月1日～2020年2月29日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2020年2月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（南北投影）



震央分布図
(1919年1月1日～2020年2月29日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

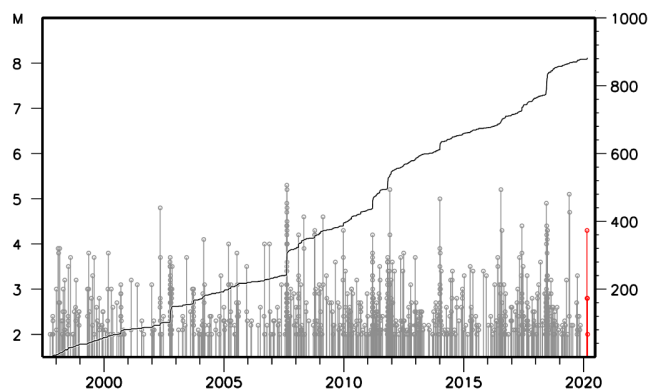


2020年2月20日12時53分に千葉県北東部の深さ28kmでM4.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0からM5.0程度の地震が時々発生している。2018年6月12日には、深さ17kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生し、震央付近ではまとまった地震活動が見られた。その地震活動と同期して、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界においてゆっくりすべりが発生している（第319回地震調査委員会資料より）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震（最大震度5）では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

